

国

⑦ 中高 国語科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「国語」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数字で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
 - ア. 小問の解答番号は1から50までの通し番号になっており、例えば、25番を 25 のように表示してある。
 - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
 - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
 - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

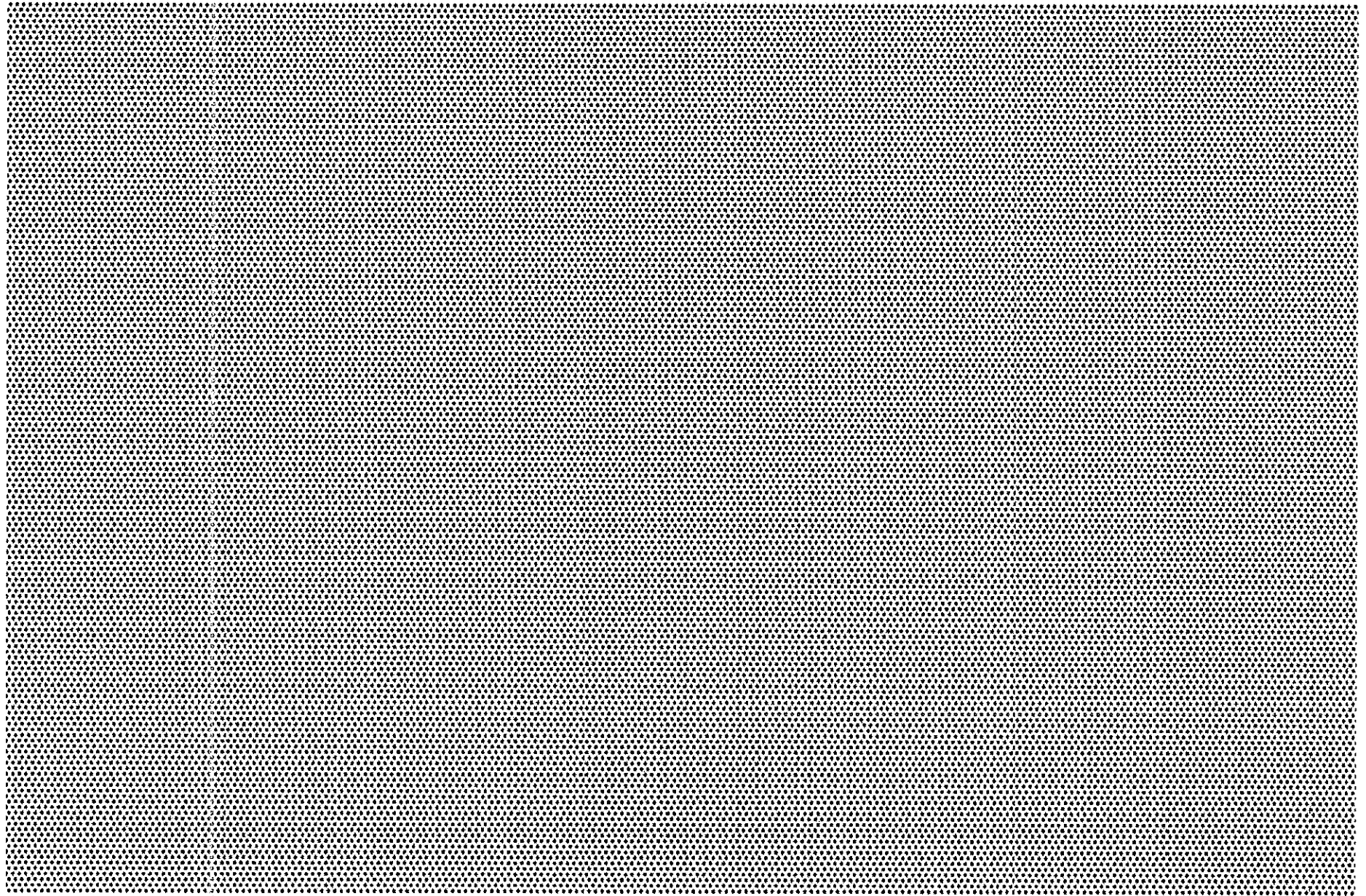
(マークシート記入例)

フリガナ	コウベ タロウ								
名前	神戸 太郎			教科名	国語				

数字で記入……

受験番号				
1	2	3	4	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0

小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答 51		
	1 - 25											26 - 50													
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	0	0	0



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校 (中学校) 学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年7月 文部科学省)における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。(＊は、中学校・特別支援学校中学部)

- ① 道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。
- ② 道徳科の指導の際には、特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを概念的に理解させたりする学習に終始することのないように配慮することが大切である。
- ③ 児童(＊生徒)が今後、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて自己の生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、道徳的価値の意義及びその大切さの理解が必要になる。
- ④ 自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うには、道徳的価値について理解する学習を欠くことはできない。
- ⑤ 道徳的実践意欲は、それぞれの場面において善悪を判断する能力である。つまり、人間として生きるために道徳的価値が大切なことを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるかを判断する力である。

(2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。(ア)～(ウ)にあてはまる適切な語句の組合わせを①～⑤から選び、番号で答えよ。

〈小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編〉

道徳科の指導体制を充実するための方策としては、まず、全てを学級担任任せにするのではなく、特に効果的と考えられる場合は、道徳科における実際の指導において他の教師などの協力を得ることが考えられる。校長や教頭などの参加による指導、他の教職員との（ア）などの協力的な指導、校長をはじめとする管理職や他の教員が自分の（イ）を生かした指導を行うことなど、学校の教職員が協力して指導に当たることができるよう年間指導計画を工夫することなどを、学校としての方針の下に（ウ）が中心となって進めることが大切である。なお、校長等が授業に参加する際は、道徳科の特質を十分に理解して臨む必要がある。いずれの場合においても、授業にねらいをもたせ計画的に行われなければならない。

〈中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編〉

道徳科の指導体制を充実するための方策としては、全てを学級担任任せにするのではなく、特に効果的と考えられる場合は、道徳科の実際の指導において他の教師などの協力を得ることが考えられる。校長や教頭などの参加による指導、他の教職員との（ア）などの協力的な指導、校長をはじめとする管理職や他の教員が自分の（イ）を生かした指導などにより、学校の教職員が協力して指導に当たることができるよう年間指導計画を工夫することなどを、学校としての方針の下に（ウ）が中心となって進めることが大切である。また、複数の教職員による学年全体での授業等も考えられる。なお、校長等が授業に参加する際は、道徳科の特質を十分に理解して臨む必要がある。いずれの場合においても、授業にねらいをもたせ計画的に行われなければならない。

- | | | | |
|---|-----------------|----------|--------------|
| ① | (ア) ティーム・ティーチング | (イ) 得意分野 | (ウ) 道徳教育推進教師 |
| ② | (ア) ティーム・ティーチング | (イ) 経験 | (ウ) 管理職 |
| ③ | (ア) ティーム・ティーチング | (イ) 経験 | (ウ) 道徳教育推進教師 |
| ④ | (ア) 話し合い | (イ) 得意分野 | (ウ) 道徳教育推進教師 |
| ⑤ | (ア) 話し合い | (イ) 経験 | (ウ) 管理職 |

(3) 「小学校(中学校) 学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年告示 文部科学省)「第3章 道徳科の内容」では、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を、四つの視点から分類整理している。次の内容項目ア、イと四つの視点A～Dの正しい組み合わせを①～⑤から選び、番号で答えよ。

内容項目
ア 家族愛, 家庭生活の充実
イ 感動, 畏敬の念

四つの視点

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- ① アーA イーB
- ② アーB イーA
- ③ アーB イーD
- ④ アーC イーA
- ⑤ アーC イーD

【2】

次の

【A】

【B】

を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合上原文の一部を改編した。)

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

B

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

一 カタカナで書かれた傍線部 a～c の漢字と同じ漢字を含むものを各群の①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

a 「フズイ」

- ① セキズイは、多くの神経が密集した重要な組織である。
- ② めでたい光をズイコウという。
- ③ ケンズイシは聖徳太子によって日本から中国に派遣された。
- ④ 短時間の強雨により河川のコウズイの危険度が高まる。
- ⑤ 総理大臣の外遊にズイコウする。

b 「ヨチ」

- ① 優勝のエイヨを得た。
- ② 時間にヨユウをもって行動する。
- ③ 限られたヨサンでやりくりする。
- ④ 制服をタイヨする。
- ⑤ ヨロン調査に基づく新聞の報道。

c 「ハカイ」

- ① 新薬の効果にカイギテキになる。
- ② 努力して信用をカイフクする。
- ③ 江戸幕府ホウカイの原因を探る。
- ④ 衆議院がカイサンする。
- ⑤ 社会を形成する色々な人々の層をカイソウという。

二 傍線部 d～f の漢字と同じ画数のものを各群の①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

d 「機微」

- ① 備
- ② 偉
- ③ 傷
- ④ 像
- ⑤ 察

e 「逐語」

- ① 乗
- ② 亭
- ③ 倉
- ④ 乾
- ⑤ 健

f 「布置」

- ① 互
- ② 凶
- ③ 巡
- ④ 仰
- ⑤ 巧

a
4
b
5
c
6

d
7
e
8
f
9

三 次の一文は、本文の ア イ ウ エ オ のいずれかから抜き出したものである。文が入る箇所として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

別にこの例が特殊であるというわけではなく、たいていの句や文には種類の異なる曖昧さが積み重なっています。

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ ⑤ オ

10

四 文中の空欄 I II III に入る語句の組合せとして最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | | | |
|---|--------|---------|----------|
| ① | I たとえば | II さらに | III また |
| ② | I たとえば | II また | III さらに |
| ③ | I さらに | II また | III たとえば |
| ④ | I さらに | II たとえば | III また |
| ⑤ | I また | II たとえば | III さらに |

11

五 傍線部A「三通りの解釈」とあるが、その構造を表す図としてそれぞれの解釈との対応が適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| 図1↓解釈2 | 図1↓解釈2 | 図1↓解釈1―2 | 図1↓解釈1―1 | 図1↓解釈1―1 |
| 図2↓解釈1―2 | 図2↓解釈1―1 | 図2↓解釈2 | 図2↓解釈1―2 | 図2↓解釈2 |
| 図3↓解釈1―1 | 図3↓解釈1―2 | 図3↓解釈1―1 | 図3↓解釈2 | 図3↓解釈1―2 |

六 傍線部B「言葉の曖昧さから自由になることはほとんどない」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 短い言葉で相手に伝えようとすると、短い言葉なので相手が油断して恣意的に解釈してしまうから。
- ② 短いスペースに情報を詰め込もうとすると、省略が行われ、可能な解釈が複数できてしまうから。
- ③ 他人に理由や目的までを含めて指示を伝えようとすると、冗長な表現になり、何通りにも解釈ができってしまうから。

④ 相手から依頼を受けた際に、熟考してありえない解釈をそぎ落とすが、その基準が人によって大きく異なるから。

⑤ 文字を書くスペースが限られている際に、自分の伝えたいことが完全に伝わるように言葉を選択することが難しいから。

七 傍線部C「二〇歳未満だと答えているのか、そうではないと答えているのか曖昧になります」とあるが、このような曖昧さを生む要因とよりよい解決方法についての説明を読んで、文中の空欄(1)～(4)にあてはまる語句の組合せとして適切なものを、①～⑤から選び、番号で答えよ。

【説明】

「忘れ物はありませんか」という質問に対して、忘れ物はないというつもりで「はい」と答えることが多い。さらに「これはあなたのハンカチではありませんか」と言われ、自分のハンカチならば「はい」と答える。これらの質問は「忘れ物ではないこと」「自分のハンカチではないこと」をたずねているのではなく、むしろ「忘れ物であること」「あなたの(忘れ物の)ハンカチであること」を遠回しな言い方として「・・・ではありませんか」という否定の表現で質問している。日本語のこのような「・・・ではありませんか」という質問には、「・・・ではないこと」をたずねているのか、「・・・であること」を遠回しにたずねているのか、判断しかねるところがある。「二〇歳未満ではないこと」を質問していると、「はい」と答えれば「二〇歳未満(1)」「いいえ」と答えれば「二〇歳未満(2)」「・・・」という答えになる。しかし、「二〇歳未満であること」を「・・・ではありませんか」と遠回しにたずねれば、「はい」は「二〇歳未満(3)」「こと」を答え、「いいえ」では「二〇歳未満(4)」「二〇歳未満であること」を答えていることになる。したがって答える側のほうで、「はい、二〇歳未満です(二〇歳以上です)。」と一言加えることで、質問の意図をどのように理解したかを示し、より正確に伝わる可能性を高くする工夫が重要になる。

- ① (1) ↓ 「ではない」 (2) ↓ 「である」 (3) ↓ 「ではない」 (4) ↓ 「である」
- ② (1) ↓ 「である」 (2) ↓ 「ではない」 (3) ↓ 「ではない」 (4) ↓ 「ではない」
- ③ (1) ↓ 「ではない」 (2) ↓ 「である」 (3) ↓ 「ではない」 (4) ↓ 「である」
- ④ (1) ↓ 「である」 (2) ↓ 「ではない」 (3) ↓ 「である」 (4) ↓ 「ではない」
- ⑤ (1) ↓ 「ではない」 (2) ↓ 「である」 (3) ↓ 「である」 (4) ↓ 「ではない」

八 傍線部ア～ウの語句は、この文脈上ではどのような意味になるか、説明として適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

ア 「いびつ」

- ① 本来の円形ではなく長円形の器の形になっていること。
- ② 元気がなくなりうまく表現できなくなってしまうこと。
- ③ 尊大に実際以上におおげさに表現していること。
- ④ 曖昧さを含んでいて完璧な表現の形をゆがめていること。

イ 「たどたどしい」

- ① 確実に伝えなければと思いつつ同じ内容や動作を繰り返して語る様子。
- ② 十分に準備、整理していないために語り口が危うい様子。
- ③ 知識や技術などが十分に習熟していない様子。
- ④ しわがれた声を出し相手を威圧するように語る様子。

ウ 「ぎくしゃく」

- ① ごつごつしてひっかかりが多く止まってしまおう様子。
- ② 周囲の様子の変化に驚き動きを止めてしまう様子。
- ③ なめらかではなくしつくりしない様子。
- ④ 考えなどがどんどんあふれ出て広がっていく様子。

ア	15	イ	16	ウ	17
---	----	---	----	---	----

九 傍線部D「数値によって人間が序列化されたときには、一人ひとりの数値にはならない部分は消えてしまふ」とあるが、数値にならないことへの筆者の立場や考え方についての説明として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 筆者は、一人ひとりの数値にならない部分にこそ共通する普遍的な真実があるという立場から、個人の感情や自身の言動の個性などは切り捨ててこそ客観的な情報が得られると考えている。
- ② 筆者は、近代科学が求めた客観性や数値化は真理ではないとして、具体的な当事者の経験こそが科学の対象となるべきであると考えて社会の問題や課題の解決をしようとしている。
- ③ 筆者は、一人ひとりの異なる社会や自然の背景となる部分には共通性や普遍性があり、それを見つめることこそ数値にならない部分の姿であり、解決すべき問題や課題を明らかにすると考えている。
- ④ 筆者は、数値化されない一人ひとりの経験の偶然で移ろいやすい部分にこそ、当事者の問題や課題を解決するヒントがあると考え、数値や客観性にだけ頼るのは危険だと考えている。
- ⑤ 筆者は、生々しい経験を語る当事者である一人ひとりの声だけではすべての解決すべき真実を受け止めるだけの情報を提供できないので、科学的な客観性も利用しようとしている。

十 傍線部E「このようなものの総体を私は『経験』と呼んでいる」について、後の各問に答えよ。
傍線部Eの内容として、最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 私たちが文化や制度などの影響を受けずに行う、客観的に正しい人間の行動のことであり、自然科学の実験などによって検証されるものである。
- ② 家族など近親者との人間関係の影響を受けた人間同士のつながりのことであり、人間同士のコミュニケーションの中で受け継がれていくものである。
- ③ 世代を超えた歴史的な背景の影響を受けた制度にしたがって行われる人間の行動のことであり、誰もが同じように語ることから明らかになる。
- ④ 文化的背景や経済状況などの影響を受けた上で、人間がその場で応答したことや行動そのものであり、語りによって引き出される。
- ⑤ 自然科学を中心とした西欧近代の学問が客観性を追求した時に重視された、たどたどしい語りの背景にある、生きている実感のことである。

19

(2) 筆者の定義する「経験」として、適切でないものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 当事者が客観的には貧困と孤立に置かれているにもかかわらず、自分自身の置かれた状況を「普通」という言葉で語っていること。
- ② 学校で古典の授業があり、平安時代の貴族の生活様式や価値観などについて、様々な資料から知識を得ること。
- ③ たまたま起きた災害で、自分自身が恐怖や不安を感じ、それをきっかけとして、災害の背景にある地域の人間関係や地域の伝統や文化について調べ、クラスで発表すること。
- ④ 学校の校則で禁止されている自転車通学について、学区の一番遠くから通っているわずか数人のために、校則改正を訴える活動をしていること。

20

十一 傍線部F「科学において失われてきたものを取り戻す試み」とあるが、それはどのようなことか。最も適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 科学が一人ひとりの生々しい「経験」を客観化と数値化することによって、それぞれの異なる感情や問題の共通項を見いだし社会全体の問題としてとらえ、協力して解決方法を模索しようとする試み。
- ② 科学が進歩することで過去の実績や成果をふまえて、多くの科学者が直面する問題を解決するために個別の「経験」を分析しやすくし地球が将来抱える課題を解決するためのデータを蓄積する試み。
- ③ 科学が一人ひとりの生々しい「経験」を客観化・数値化することによって、個別の異なる感情やそれぞれが抱える問題を明らかにし、社会全体で共通する問題や課題を解決する動きをスムーズにする試み。
- ④ 科学が一人ひとりの生々しい「経験」を客観化と数値化することによって切り捨てた、それぞれの異なる感情や問題のある部分を丁寧に取り上げ、一人ひとりの問題や課題を解決していこうという試み。

21

十二 傍線部G「口癖の使い方や人称代名詞のゆらぎ、言い間違いのなかに、経験のひだと複雑さが表現される」とあるが、**A**と**B**とを比べて次のような感想を書いた生徒がいた。その【感想】を読んで、どのような経験のひだと複雑さが表現されているか。説明として最も適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

【感想】

たしかに、ちょっとした言い回しにその人がどのような思いでいるか察するということがある。先生は手術後三日目の退院間近の私にこう言った。

「どうですか？痛みやしびれはありませんか？」

「今は、痛みやしびれはありませんが……」

と私は答えた。

「ああ、今なければこれから痛みやしびれは出ませんから心配いりませんよ。」

すかさず先生が、私の不安を察してくれた言葉を返してくれた。

私はほっと一安心して、翌日退院することができた。

これは私が、ある手術をするために入院したときのできごとである。手術としては簡単なものであったが、患部近くに大切な神経が走っているので用心して全身麻酔の手術をした。二時間程度の手術の後、麻酔から醒めるまでにさらに三時間ほどかかった。術後の経過を診るためにそのあと三日間入院した。担当の先生が毎日決まった時間に病室にきて、痛みとしびれの確認をしてくれた。この会話は、三度日の確認の言葉ではあったが、私は「どちらもありません。」ときっぱりとは答えられなかったのである。その言葉の言い回しやためらいに先生は、私の不安を読み取ってくれたのである。

① 医師は、本人の術後の不安を「今は」の「は」という限定した言い方や「ありませんが……」というためらいの文末表現に見出して、安心させるような言葉をかけている。ちょっとした言い回しに当事者の置かれた状況や心理を読み取ること、よりよい問題の解決に導いている。

② 医師は「痛みやしびれ」のないことを確認することで、術後の回復具合を着実に診断している。もう心配ないほど回復していることを確認できたので、「心配しなくていいですよ」と告げることで患者を安心させている。

③ 医師は、私が全身麻酔の手術をした不安を「ありませんが……」という曖昧な文末表現によって確信して、術後の回復状態を正確に「大丈夫です」と伝えようとしている。正確な情報を伝えることで患者は安心することができる医師としての適切な判断がなされた経験のひだがある。

④ 医師は、患者の曖昧な表現に、その背景にある不安な気持ちを見出し、安心させる言葉を返して心を落ち着かせることなどしていない。患者自身が自分の不安な気持ちは取り越し苦労であることに気づいて、専門家の診断に素直に従って安心していい。

【3】 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

むかし、惟喬（よひたか）の親王と申すみこおはしましけり。山崎のあなたに、水無瀬（みみなせ）といふ所に、宮ありけり。年ごとの桜の花ざかりには、その宮へなむおはしましける。その時、右の馬（うま）の頭（かみ）なりける人を、常に率ておはしましけり。時世（ときよ）経て久しくなりにければ、その人の名忘れにけり。狩（あ）はねむごろにもせで、酒をのみ飲みつつ、やまと歌にかかれりけり。いま狩する交野（まつの）の渚の家、その院の桜、ことにおもしろし。その木のもとにおりゐて、枝を折りて、かざしにさして、かみ、なか、しも、みな歌よみけり。馬の頭なりける人のよめる。

I 世の中にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし
となむよみたりける。また人の歌、

II 散ればこそいとど桜はめでた

I 憂き世になにか久しかる

II

とて、その木のもととは立ちてかへるに日暮になりぬ。御供なる人、酒をもたせて、野よりいで来たり。この酒を飲みてむとて、よき所を求めゆくに、天の河といふ所にいたりぬ。親王に馬の頭、大御酒（おほみき）まるる。親王ののたまひける、「交野を狩りて、天の河のほとりにいたる、を題にて、歌よみて盃はさせ」とのたまうければ、かの馬の頭よみて奉りける。

III 狩りくらししたなばたつめに宿からむ天の河原にわれは来にけり

親王、歌をかへすがへす誦じたまうて、返し（かへ）えしたまはず。紀の有常、御供に仕うまつれり。それが返し、

IV ひととせにひとたび来ます君待てば宿かす人もあらじとぞ思ふ

かへりて宮に入らせたたまひぬ。夜ふくるまで酒飲み、物語して、あるじの親王、酔ひて入りたまひなむとす。十一日の月もかくれなむとすれば、かの馬の頭のよめる。

V あかなくにまだきも月（つき）のかくるるか山の端にげて入れずもあらなむ

親王にかはりたてまつりて、紀の有常、

VI おしなべて峰もたひらになりなむ山（やま）の端なくは月も入らじを

〔伊勢物語〕より

《注》 惟喬の親王…惟喬親王（八四四～八九七）は文徳天皇の第一皇子。

交野…現在の大阪府枚方市あたりで、鷹狩りの名所。

大御酒…天皇などに差し上げる酒。

一 傍線部A「狩はねむごろにもせで」の解釈として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 鷹狩りは得意ではなかったのだ
- ② 鷹狩りには興味がなかったのだ
- ③ 鷹狩りで獲物が獲れなかったのだ
- ④ 鷹狩りは熱心にもしない
- ⑤ 鷹狩りは昼頃には終わって

二 空欄 I および II に入る言葉の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① I…ける II…べし
- ② I…けり II…べく
- ③ I…ける II…べく
- ④ I…けり II…べし
- ⑤ I…けれ II…べき

24

三 傍線部ア、イ、ウの解釈として適切なものを①～⑤からそれぞれ選び、番号で答えよ。

- ア ① 飲むつもりで ② 飲んでしまおう ③ 飲んでしまったので
- ④ 飲みたいものだ ⑤ 飲むとしたら

25

- イ ① 織女 ② 野辺の家 ③ 七夕の終わり頃
- ④ 天の川 ⑤ 川のほとり

26

- ウ ① 作ろうと思わない ② 直ぐにはお作りにならない
- ③ おできにならない ④ しばらく後に作ろうと思われる
- ⑤ 作るのが億劫になられる

27

四 傍線部B「君」とは誰のことか。最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 天皇
- ② 馬の頭
- ③ 惟喬の親王
- ④ 紀の有常
- ⑤ 牽牛

28

五 傍線部C「月のかくるる」の解釈として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 惟喬の親王が酒に酔って寝所に入ろうとすることのたとえ
- ② 水無瀬の離宮にある桜の花が散ろうとすることのたとえ
- ③ 主従一行の河原での宴が終わろうとすることのたとえ
- ④ 返歌を詠もうとする者がなかなか現れないことのたとえ
- ⑤ 時も過ぎ時刻がだいぶ遅くなってしまったことのたとえ

29

六 傍線部D「ななむ」の「なむ」の文法的に正しい説明を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 強意の係助詞
- ② ナ変動詞の活用語尾+意志の助動詞「む」の終止形
- ③ 願望の終助詞
- ④ ナ変動詞の活用語尾+推量の助動詞「む」の連体形
- ⑤ 強意の助動詞「ぬ」の未然形+推量の助動詞「む」の終止形

30

七 和歌IVは、和歌IIIに対する返し歌の形式をとっているが、その趣旨からはIVの詠み手のどのような態度が感じられるか。その説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① IVの和歌は、IIIの和歌の内容に理解を示す意味を含んでいるが、その賛意を別の角度から言い換えて内容を面白くしようとする態度を表している。
- ② IVの和歌は、IIIの和歌の内容をやりわりとはぐらかす意味を含んでいるが、その機知がかえって詠み手に対する返し手の親しげな態度を表している。
- ③ IVの和歌は、IIIの和歌の内容を肯定しつつもより優れた別案を示す意味を含んでいるが、それは前者で見落とされている点を指摘する現実的な態度を表している。
- ④ IVの和歌は、IIIの和歌の内容を異なる角度から否定する意味を含んでいるが、それは行き過ぎた酒宴の有り様を諷めるような態度を表している。
- ⑤ IVの和歌は、IIIの和歌の内容に消極的に同意する意味を含んでいるが、実際にはそうした可能性はまずないだろうという冷静な態度を表している。

31

八 Iの和歌「世の中にたえてさくらのなかりせば春の心はのどけからまし」の作者として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 壬生忠岑
- ② 凡河内躬恒
- ③ 紀有常
- ④ 在原業平
- ⑤ 紀貫之

32

【4】 次の漢文を読んで、後の設問に答えよ。(設問の都合で送り仮名を省いたところがある。)

梁ノ惠王曰ク、晋国ハ天下莫レ強^{A*}レ焉ヨリ。叟^{A*}之所^B知也。及^Bレ寡人之身^B、東ハ敗^Bレ於^B齊^B、長子死^Bス焉。西ハ喪^Bレ^{フコト}地^ヲ於^B秦^B七百里。南ハ辱^Bレ^{メラル}於^B楚^B。寡人恥^Bレ^ツ之^ヲ。願^B比死者一洒^B之。如^Bレ之^ヲ何^{セバ}則^チ可^{ナラン}。

孟子对^{ヘテ}曰ク、地方百里^{B*}而可^{ニシテ}以^テ王^{タル}。王如^A施^ニ仁政^ヲ於^ニ民^ニ、省^キ刑罰^ヲ、薄^{クシ}稅^ノ斂^ヲ、深^ク耕^シ易^シ耨^ム、壯者^ハ以^{ニテ}暇^ヲ日^ヲ修^メ其^ノ孝悌^ヲ、忠^ヲ信^ヲ、入^{リテハ}以^テ事^ヘ其^ノ父兄^ニ、出^{テハ}以^テ事^{ヘバ}其^ノ長上^ニ、可^{レシム}使^ミ制^{シテ}梃^ヲ以^テ撻^ニ秦[・]楚之堅^ヲ甲[・]利^ヲ兵^ヲ矣。

彼^ハ奪^ヒ其^ノ民^ヲ時^ヲ、使^カ不得^ル耕耨^ヲ以^テ養^フ其^ノ父母^ヲ。父母凍^シ餓^シ、兄弟妻子離^ス散^ス。彼^ハ陷^リ溺^ル其^ノ民^ヲ。王往^リ而征^ム之^ヲ、夫誰^カ与^ル王^ノ敵^ト。故^ニ曰ク、仁者^ニ無^レレ^ト敵^ト。王請^フ勿^レ疑^{フコト}。

(『孟子』より)

* 晋…晋にはもと六卿があり、その後、三卿が残った。その三卿はそれぞれ独立をし、韓・魏・趙の三

國を建てた。梁の惠王は、その中の魏の王になる。

叟…長老のこと。 方百里…百里四方の土地。小國のこと。

稅斂…租稅の取り立て。 深耕…田地を深く耕すこと。

易耨…草がまだ成長しないうちに除き、まだはびこらないうちに取り去ること。

- 一 傍線部 a) c) の漢字と送り仮名の読みとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。
- a ① あるいは ② ことし ③ さらに ④ もし ⑤ ふたたび
 - b ① たたかひて ② いでて ③ ゆきて ④ おうじて ⑤ まげて
 - c ① と ② から ③ くみして ④ ために ⑤ より

a
33
b
34
c
35

二 傍線部A「叟」とは誰のことか。最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 寡人 ② 壯者 ③ 惠王 ④ 仁者 ⑤ 孟子

36

三 傍線部B「願比死者一洒之」は具体的にどのようなことを言っているのか。その説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 死んだ人たちに報いるために、一旦、慰霊碑を立てて弔いたいと願っていること。
② 死んだ人たちのためにも、一度仇討ちをして、受けた恥をすずぎたいと願っていること。
③ 死んだ人たちに報いるために、その子孫を一旦、臣下として取り立てたいと願っていること。
④ 死んだ人たちのためにも、一旦休戦をして、何とか平和を取り戻したいと願っていること。
⑤ 死んだ人たちに報いるために、子孫に一度、見舞いを行いたいと願っていること。

37

四 傍線部Cを「耕耨して以て其の父母を養ふことを得ざらしむ」と読めるよう、返り点を施したものとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 使_レ不得_二耕耨_一以_レ養_二其_レ父_レ母_一
② 使_レ不得_二耕耨_一以_レ養_二其_レ父_レ母_一
③ 使_レ不得_二耕耨_一以_レ養_二其_レ父_レ母_一
④ 使_レ不得_二耕耨_一以_レ養_二其_レ父_レ母_一
⑤ 使_レ不得_二耕耨_一以_レ養_二其_レ父_レ母_一

38

五 傍線部Dの「彼」とは誰を指し、また、「其の民を陥溺す」とはどのようなことを言っているのか。その説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 秦や楚の国王が、自国の民を落とし穴におとし入れ、水の中に溺れさせるようなことをし、苦しめること。
② 百里四方の小国の王が、自国の民を刑罰を軽くし、租税の取り立てを緩やかにして、いたわること。
③ 梁の国王が、周辺国の圧力を跳ね返し、自国を強くすることで、民の生活を安らかなものへと導くこと。

④ 百里四方の小国の王が、周辺の國といさかいを起こさず、軍備も最小限のものにすることで争いをなくすこと。

⑤ 梁の国王が、斉や秦、楚に対抗し、失われた領土を取り返すことで、自国の民の信頼を取り戻すこと。

39

六 本文の内容と合致しているものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 齊・秦・楚に打ち勝つためには、民に十分な施しをし、国内の軍備を充実させれば、梁に敵するものがないと孟子が説いた。
- ② 若者は農事の暇に孝悌忠信を修め、家では父兄によく仕えているので、彼らは休みなく働いている彼らに休息を与えるべきだと孟子が説いた。
- ③ 秦国のように民を大事にせず、父母を飢え凍えさせ兄弟妻子がちりぢりになれば、人心が離反し国が亡びると孟子が説いた。
- ④ 結局他国に勝つためには、民を愛し仁政を施す以外になく、そうすれば他国は自然となびき梁に従うと孟子が説いた。
- ⑤ 刑罰を軽くし税を低くするなど民政に力を入れれば、杖だけで秦や楚の堅固な甲冑や鋭利な武器に打ち勝てる孟子が説いた。

【5】後の設問に答えよ。

一 次は、「中学校学習指導要領」(平成二十九年三月 文部科学省)における第一学年の思考力、判断力、表現力等の内容の一部である。文章中の空欄(A) (B) (C)にあてはまる語句の組合せを①～⑤の中から選び、番号で答えよ。

(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることが出来るよう指導する。

- ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。
- イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の(A)部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。
- ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
- エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や(B)などを踏まえて、自分の考えをまとめること。
- オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を(C)考えをまとめること。

- ① A 重要な B 卓越点 C つなげて
- ② A 中心的な B 相違点 C 結び付けて
- ③ A 大切な B 差異点 C 関係付けて
- ④ A 中心的な B 相違点 C つなげて
- ⑤ A 重要な B 差異点 C 結び付けて

二 次は、中学生四名(司会を含む)の話し合いの様子である。これを読んで、後の問いに答えよ。

A 中学校では、総合的な学習の時間に「持続可能な開発目標(SDGs)」が示した17の目標について生徒が分担して調べた。このグループは、目標14「海の豊かさを守ろう」について話し合っている。

司会 私たちのグループでは、「海の豊かさを守ろう」について調べ、来週学年集会で発表をしますが、この時に私たちができることも発表内容に入れて提案をした方がより具体的に訴えかけることもあり、良いと思います。その提案のために、「プラスチックごみ」を少なくするために何が出来るかを話し合いたいと思います。

隆 その時にぜひ内容に入れて発表したいのは、「マイクロプラスチック」のことです。海に流れ着いたプラスチックはどんどん小さくなります。これを、「マイクロプラスチック」と言います。そのつぶを魚は気づかず飲み込んでいます。海の生き物たちがこれまでどおりに元気に暮らせるようになってほしいということが目標14の願いだと思います。このことは皆で考えるべきこと

だと思っています。

企業によっては、使い捨てプラスチックをやめて、リサイクルや再生可能なプラスチックに変える取組をしているところもあるようです。そこで、このグループでは自分たちはどのような取組ができるかを話し合い、提案すると良いと思います。司会の提案に賛成です。

奈緒美 (A)。これからの社会でみんなが幸せに生きていけるように今何ができるかを考えていくことは必要なことだと思います。

学校では、生徒会の活動で「ペットボトルキャップ」を集めリサイクル工場に運んでいます。キャップを粉砕、洗浄してリサイクル素材を作り、買い物かご、クリアファイル、ボールペンなどのリサイクル製品を作っていると分かりました。キャップ集めは意義を考えると続けたいし、もっと多く集まるように生徒会で検討してもらいましょう。

みづき そうですね。その集め方を生徒会で検討してもらいましょう。

隆 学校の給食では、牛乳のストローがなくなりました。また、パンをプラスチックの袋で包装するのをやめると栄養教諭の田中先生が放送で話していました。このこともプラスチックを少なくするための取組ですね。

司会 今までの取組が出されましたが、さらに何ができるかを考えていきましょう。

奈緒美 発表の仕方での提案なのですが、前に環境学習で習った3Rという言葉を中心に考えていったらどうでしょうか。一つ目は、リデュース (Reduce) です。ごみになるものを減らすことです。二つ目は、リユース (Reuse) です。ものを大切に繰り返し使うことです。三つ目は、リサイクル (Recycle) です。ごみを原材料として再生利用することです。この三つの点から整理すると分かりやすいと思います。

隆 それは良いと思います。分かりやすい発表になると思います。

司会 賛成の意見が出ましたので、この三点をもとに考えていきましょう。付箋を用意しましたので、付箋に何ができるかを書いて三つの点に分けて画用紙にまとめたと思います。

みづき (B)、リデュースから意見を出しましょう。一つは、スーパーなどのポリ袋の使用を減らすために買い物時にマイバックを使うことです。これは、だいぶ定着してきていると思います。そして、家でも気になっているのですが、食品の保存に使うラップを減らせないかなと思います。

奈緒美 私の母は、できるだけ付いた付きの容器を使うようにしていると言っています。司会 リユースはいかがですか。

隆 これはものを大切に繰り返し使うことですね。できそうではないことです。シャンプーや洗剤を買うときにボトルに入ったものを買うのではなく、詰め替え用のものを買うこともできると思います。水筒やマイボトルを使用することもリユースととらえることもできます。

みづき 水筒はほとんどの学校などが持参することになっています。プラスチック問題につながっていたことに気が付きました。

司会 (C)、リサイクルはどうでしょうか。

奈緒美 ごみを分別して出してリサイクルができるようにすることが大切です。

隆 生徒会主催で、月一回近くの川の清掃活動を行っていますね。これもプラスチック問題に関係があると思います。これから積極的に参加したいです。

司会 たくさんの意見が出ました。他に気が付いたことがあれば付箋に書いてはってください。

みづき 学校でも、環境問題について理解を深めるために講演会を予定しているそうです。できたら、私

の入っているボランティア部でもこの提案を受けて、何をするかを考えていきます。

隆 考えたことを、広報紙に書いて全校に広めていくと、生徒の意識も高まると思います。

奈緒美 意見を出し合ったら、たくさんアイデアが出てきました。まだ他にもあるかもしれませんか

ら、生徒一人ひとりが考えてくれるように訴えたらどうですか。

司会 発表の時に、そのことを訴えましょう。

私が今日出た意見をまとめてみますので、私の作業が終わったら、皆さんも確認してください。

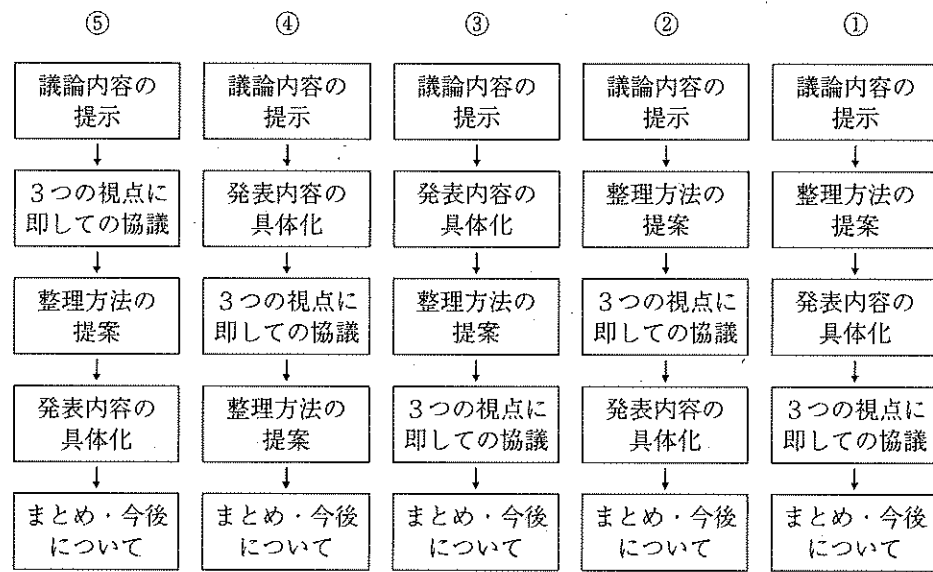
これで、「海の豊かさを守るために、私たちができること」についての話し合いを終わります。

(1) 空欄(A) (C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- | | | | | | | |
|---|---|--------------------|---|------|---|------|
| ① | A | 私も司会の提案に賛成です | B | まず | C | そのうえ |
| ② | A | 私は提案に賛成でも反対でもありません | B | なお | C | では |
| ③ | A | 私は司会の提案に反対です | B | なお | C | しかし |
| ④ | A | 私も司会の提案に賛成です | B | まず | C | では |
| ⑤ | A | 私は司会の提案に一部賛成です | B | それとも | C | しかし |

(2) 次は、この話し合いの進行方法について述べたものである。その説明として適切ではないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 司会は、話し合う内容について、「海の豊かさを守るために、私たちができること」と明確にし、話題がそれないように話し合いを進行するよう気を付けている。
- ② 司会は、参加者が意見を書く付箋を用意し、それらの意見をまとめるために画用紙に貼るよう提案した。
- ③ 参加者は、今後の発表につながるような自分の学校や家庭での取組を提示したり、まとめる方法についても意見を出したりするなど進行に貢献している。
- ④ 参加者は、話し合いの目的にそって発言を行っている。自分の意見を話しながらも他の人の意見を否定したり受け流したりせずに発言をしている。
- ⑤ 話し合いの最後に、司会自身が今日出た意見を整理しまとめると話し、グループ内の他の参加者にも後で確認してほしいと話している。



(3) この話し合いの流れを示した図として最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(3) 次は「中学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月 文部科学省)における「(3)我が国の言語文化に関する事項(第1学年)エ(イ)漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」に関する記述の一部である。文章中の空欄(A) (B) (C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

漢字の行書の基礎的な書き方とは、直線的な点画で構成されている漢字を、点や画の形が(A)を帯びる場合があること、点や画の方向及び止め・はね・払いの形が変わる場合があること、点や画が連続したり(B)されたりすることがあること、(C)が変わる場合があることなどといった行書の特徴を伝統的な文字文化とも関連させながら理解して書くことを意味している。身近な文字を行書で書くとは、そうした行書の基礎的な書き方を理解し、学習や生活の中で使用頻度の高い語句などについて書くことである。

- ① A 角 B 増加 C 筆法
- ② A 丸み B 省略 C 筆順
- ③ A 円 B 除外 C 筆圧
- ④ A 丸み B 増加 C 筆順
- ⑤ A 角 B 省略 C 筆法

47

二 学習指導要領について、後の設問に答えよ。

(1) 次は、「中学校学習指導要領」(平成二十九年三月 文部科学省)における「第1学年の目標」に関する記述の一部である。空欄(A) (B) (C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

〔第1学年〕

目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に(A)理解したりすることができるようにする。
- (2) (A) (B) 考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを(C) ことができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

- ① A 親しんだり B 客観的に C 明らかにする
- ② A 触れたり B 筋道立てて C 分かりやすくする
- ③ A 慣れたり B 合理的に C 明らかにする
- ④ A 触れたり B 客観的に C 確かなものにする
- ⑤ A 親しんだり B 筋道立てて C 確かなものにする

48

(2) 次は、「中学校学習指導要領」(平成二十九年三月 文部科学省)における「第3. 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。空欄(A)～(C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

3 教材については、次の事項に留意するものとする。

(1) 教材は、第2の各学年の目標及び内容に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度を育成することをねらいとし、生徒の(A)の段階に即して適切な話題や題材を精選して(B)取り上げること。また、第2の各学年の内容の「思考力、判断力、表現力等」の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる(C)が十分行われるよう教材を選定すること。

- ① A 成長 B 適切に C 表現活動
- ② A 発達 B 調和的に C 言語活動
- ③ A 進歩 B 創造的に C 言語活動
- ④ A 発達 B 調和的に C 学習活動
- ⑤ A 成長 B 適切に C 表現活動

49

(3) 次は、「高等学校学習指導要領」(平成三十年三月 文部科学省)における「第2節 言語文化 2 目標」である。空欄(A)～(C)にあてはまる言葉の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し(A)表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) (B)考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の(C)としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

- ① A 効果的に B 論理的に C 担い手
- ② A 分かりやすく B 実証的に C 担い手
- ③ A 効果的に B 合理的に C 継承者
- ④ A 伝わるように B 論理的に C 推進力
- ⑤ A 分かりやすく B 合理的に C 継承者

50

